



荏原グループ労連

理事会およびグループ労使会議

第22回理事会

荏原グループ労連第22回理事会が10月12日（水）午後1時30分から、荏原製作所羽田本社ビル1階大会議室で開催されました。今回の理事会は各団体の役員が交代したことなどもあり、通常よりも多い12団体・35人が参加しました。



理事会であいさつする内山労連代表

由倉労組発行
発行責任者
加藤賢一
栃木県栃木市
藤岡町甲1730
TEL
050-3511-3720
FAX
0282-62-5420

佐野地区労第58回定期大会
日時 10月23日（日）午前9時開会
会場 佐野市勤労者会館

とつても今年がターニングポイントになる可能性がある」とあいさつされました。

その後、各団体労連担当役員の変更や後任について、よしもとお笑いライブ（10月2日）の報告、第7回評議員会（11月18日開催）について、被災地ボランティアツアーの開催について、グループ労使会議について、近況報告兼来季行事計画などの議題について論議されました。

論議の中で、被災地ボランティアツアーについての提案では、12月初旬を目途に、関東近郊の被災地におけるボランティアを計画することになりました。金曜日の夜に出発（車中泊）、土曜日は近隣の温泉かホテルに宿泊、日曜日は14時ころまでボランティアを行い、22時ころ帰着の予定で、個人負担として千円を予定しているとのことでした。

また、各団体からの近況報告では、夏場の節電対策や、来期の労連の行事計画などについて意見が出ま



グループ労使会議であいさつする荏原製作所の伊藤常務

役をはじめ、12社から31人の役員の方々が出席されました。

最初に内山労連代表があいさつし、3月11日の震災のあと、会社の対応が早く被災地の荏原の社員から荏原の社員でよかったとの声があり、きずなが深まったと話されました。次に、会社側を代表して伊藤常務取締役があいさつし、震災後の夏の節電で25%カットの目標が達成されたことなどについて話をされました。

労使によるプレゼンテーションでは、荏原環境テクノ北海道の従業員会を代表して大垣副代表から会社紹介と現状について、エリオットグループの田中COOがグループ経営とグローバル化について、荏原金属の彦久保社長が電力削減対策について、荏原ハイドロテック労組の栗山委員長が震災復興支援について報告し、その後フリーディスカッションを行いました。

グループ労使会議終了後には、11階の「エール」にて、会社側及び労連側の参加者全員で懇親会が開催されました。荏原由倉ハイドロテックからは、南部社長、

第5回労使会議

理事会終了後、午後3時30分から同じ会場で、第5回グループ労使会議が開催されました。労連側は、理事会のメンバーがそのまま出席、会社側は荏原製作所コーポレート伊藤常務取締

た。行事計画の中では、藤岡工場の工場見学ツアーなどの意見も出ていました。荏原グループ内での再編がありそうで、会社から大きな施策が出てきたときは、グループ労連をフル活用して対応していくとのことでした。



鴻巣常務、吉谷取締役が出席されました。またハイドロテック労組からは、栗山委員長、鈴木副委員長、梅村前委員長が出席、由倉労組からは加藤委員長、小関副委員長、桑谷書記長が出席しました。

グループ労連の各団体の役員の方々はみなさん、30代が中心、ほんとうに若い方が多いです。

来年度に企画してもらいたい行事
葛西臨海公園
イチョゴ狩り・

- 富津工場見学ツアー
 - 藤岡工場見学ツアー
 - 野球・サッカー観戦
 - 機場・プラントの見学
 - 企業対抗ボウリング
 - 「社会見学」の大人版
 - 工場見学
 - 日光ハイキング
 - 水族館
- 労連の行事についてご希望があればお寄せ下さい。次回の理事会に提案してみます。

とちぎ国際有機農業映画祭2011

東京のど真ん中をグルグル回る山手線。この山手線には無いものがあります。それは、線路の横にある3灯式の信号機がないのです。その理由は、山手線は2分半という時間間隔で運転されている超過密路線であるためです。従来の信号システムでは、運転間隔をこれほどまでに短縮することができませんでした。そこで、山手線がATC化されたときに、新型車両を導入し、車内で信号を表示するシステムへと切り替えました。そのことにより地上信号を廃止したため

では、車内信号機はどこにあるのでしょうか。それは運転席のスピードメーターの本体の中に組み込まれていて、運転手はメーター内の表示に従って運転しているのです。（表示は、赤・黄・青）この方法だと信号機を確認してブレーキをかけるといった動作は不用で、手元のスピードメーターを確認するだけで済むので、より早い危機回避が行えるという利点があります。今後はこのシステムが主流になっていくものと思われま

ちょこ鉄雑学
てっちゃん

日時 11月26日（土）

会場 佐野市中央公民館

入場料 前売り1200円

当日 1500円

- タイムテーブル
- 9:30～ 開場
 - 10:00～ 開会あいさつ
 - 10:05～ 「山のかなた」76分
 - 11:30～ 「子どもたちを放射能から守れ」40分
 - 12:10～ 昼食
 - 13:00～ 「源八おじさんとタマ」12分
 - 13:15～ 「隠された被曝労働」24分
 - 13:39～ 「みえないばくだん」11分
 - 14:05～ 「ミツバチの羽音と地球の回転」135分
 - 16:30～ 謙仲ひとみ監督講演「放射能汚染をどう生き抜くか」90分
 - 18:00～18:05 閉会あいさつ

若い有機農業従事者の人たちが企画しています。